

# 平成29年度 学校自己評価システムシート (県立宮代高等学校)

目指す学校像	生徒一人ひとりの「よさ」を伸ばし、次代をたくましく生き抜くための学力と規範意識を身に付けた人間を育てる
--------	---

重点目標	1 生徒一人ひとりに見合った学習環境を提供し、基礎学力を確実に向上させる 2 生徒一人ひとりの資質を把握し、個々に目標・目的を持たせ、規律ある学校生活を送らせる 3 積極的な広報活動を行うとともに、保護者・地域・関係諸機関との連携を強化する
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	9名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力定着のための施策は充実してきている。生徒が安定した学校生活を送れる取組を継続していく必要がある。</li> <li>「朝学習」を実施し、進路実現に必要な基礎学力の習得及びそのための学習習慣を育成している。</li> <li>苦手科目の指名補習は効果を上げている。</li> <li>スケジュール管理の考え方を浸透させるために専用の手帳を導入した。</li> <li>校内の授業研修会や外部の研究発表会の情報共有等により授業改善に努めている。</li> </ul>	基礎学力向上のための取組を充実させ、併せて学力上位層の学力伸長のための体制を確立する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>基礎学力向上のテキストを用いて自学自習の朝学習を毎日10分間実施する。</li> <li>これまでの取組(勉強マラソン、部活動勉強会、学習サポーターによる個別支援、授業への取組3割評価、指名補習)を継続し、改善・充実を図る。</li> <li>1・2学年の生徒は全員スケジュール管理の手帳を活用し、学習習慣を確立する。</li> <li>年次研修等を活用した授業研修会を年3回実施する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>生徒が集中して取り組むことができたか。取組が定着したか。</li> <li>各学期の成績不振者数が、前年度の2割減以上であったか。また、勉強マラソンへの参加者数が前年度を上回ることができたか。</li> <li>スケジュール管理の手帳を有効活用できたか。家庭学習時間が増えたか。</li> <li>有効な授業研修会を実施できたか。</li> </ol>	学力向上の取組はほぼ達成した。 <ol style="list-style-type: none"> <li>朝学習に概ね集中して取り組むことができたのは7割～8割。朝学習は「基礎学力の向上」に役立つと全体の約7割の生徒が回答。趣旨を理解して取り組んでいる。</li> <li>成績不振科目数が3年次において前年度より増。1年次においては昨年同時期比2割減。2年次においては1年同時期比半減。勉強マラソンの参加者数は増加。</li> <li>手帳を活用しはじめた。家庭学習時間は微増。</li> <li>授業研修会を4回実施。ほぼ全職員参加の研究協議及び授業研修会を実施できた。</li> </ol>	A	朝学習の導入は順調で生徒にも浸透したが、モチベーションを保つ工夫改善を行う必要がある。欠点を取らせない指導を引き続き行う。手帳を生徒の実態に応じてカスタマイズしたものに改善し、家庭学習時間を増やしていく。高大接続改革を見据えた授業改善を推進する。
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>期間皆勤賞等の取組により欠席者数が減少した。遅刻者の減少に向け取り組む必要がある。</li> <li>現代のリスク回避のためインターネット等の適正使用に向けた教育を充実させる必要がある。</li> <li>部活動や生徒会活動の活性化により、学校の核となって活躍する生徒が増えてきている。</li> <li>目的意識を持った生徒の育成と希望の進路実現のため、教育相談体制の充実を図る取組を継続する必要がある。</li> </ul>	全教職員で「育てたい生徒像」を共有し、目的意識・規範意識を持ち、主体的に行動できる生徒を育てるとともに、生徒の健全な学校生活を支援する体制を整える。	<ol style="list-style-type: none"> <li>生徒への積極的な働きかけと家庭との連携を強化することで、さらに遅刻・欠席数を減少させる。遅刻防止の取組について検討を行う。</li> <li>スマホの適切な使用については、様々な場面で繰り返し、生徒に話して聞かせる。</li> <li>スクールカウンセラー、巡回支援員等を適切に活用し、安心安全の確保に努める。</li> <li>早期に進路意識を育成するとともに、進路と絡めた学習指導や生徒指導を行う。</li> <li>部活動、生徒会活動への積極的参加を促す。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>遅刻・欠席者数が、前年度の2割減になったか。</li> <li>足並みをそろえた指導を行うことができたか。生徒指導件数が前年度を下回ったか。</li> <li>教育相談が不登校等の未然防止に寄与したか。</li> <li>1・2年生の進路意識が高まったか。また、3学年において大学・短大・専門学校・就職等の希望に応じた進路選択が適切に行われたか。</li> <li>部活動の定着率が高まったか。</li> </ol>	生徒の健全な学校生活は概ね達成できている。 <ol style="list-style-type: none"> <li>欠席者数については微減。遅刻者数を減らすことが課題。</li> <li>足並みをそろえた指導を実施。生徒指導件数は増加。SNS関連で指導人数が増えたことが原因。</li> <li>教育相談体制は整備され担任等に有効に活用されている。</li> <li>各学年組織的・計画的に進路指導を実施し、進路意識を高めることができた。</li> <li>部活動の定着率は約7割。運動部だけではなく文化部の入賞が大幅に増加。</li> </ol>	B	教職員一丸となって引き続き中途退学者数の減少を目指す。遅刻者数の減少が課題である。粘り強い指導を継続することとあわせて保護者との相談や不登校の未然防止に力を入れる。部活動で活躍している生徒を核にした学校の活性化と目的意識をもった生徒の育成と希望の進路実現に取り組む。
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮代町唯一の高校として、中学校、町教委、商工会との連携が深まってきている。</li> <li>ボランティア活動等での地域連携が充実してきている。</li> <li>目的意識を持って受検する志願者が増えて、生徒募集も安定してきている。</li> <li>P T Aとの連携を深め、保護者からの情報伝達により地域からの信頼を獲得する必要がある。</li> </ul>	保護者、地域、関係諸機関との連携を深め、積極的に情報発信し、安定的な志願状況を確立する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>宮代町の3中学校、町教委と学習指導、生徒指導等で連携を強化する。また、部活動での連携を進める。</li> <li>ボランティア活動等により宮代町、自治会、商工会等との連携を充実させる。</li> <li>生徒の活動を生かした学校説明会、広報活動を実施する。</li> <li>部活動や学校行事等の情報をHPで積極的に発信するほか、P T A広報誌を地域の人々にも配布し、情報発信を強化する。保護者の各種学校行事・P T A行事への参加案内を積極的に行う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>中学校、町教委、宮代町、自治会、商工会等と連携した取組を検討し、実施できたか。</li> <li>ボランティアや交流活動の参加数が増えたか。参加者数が、前年度より増加したか。</li> <li>学校説明会等の参加者数が前年度を上回ったか。また、本校志願者の9割以上が学校説明会に参加したか。</li> <li>部活動のHPの更新が増加したか。広報誌を配付できたか。行事に参加する保護者数が増えたか。</li> </ol>	保護者、地域、関係諸機関との連携はほぼ達成できた。 <ol style="list-style-type: none"> <li>前年度比連携行事増加。部活動・生徒会の取組も増加。</li> <li>新規に美化委員会の清掃活動を実施。参加者数も大幅に増加。</li> <li>学校説明会等の参加者数は約1200名。本校志願者の9割以上が学校説明会に参加。(3月9日現在)</li> <li>部活動のHPの更新が前年度比増加。アクセス数も20万件突破。広報誌を地域にも配付。行事に参加する保護者も増加した。</li> </ol>	A	保護者・地域・関係諸機関等の連携が強化され、地域から感謝される機会が増えている。生徒会・部活動のよい評判や生徒の活躍を効果的に情報発信し、安定的な生徒募集につなげていく。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成30年 2月13日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>朝学習、勉強マラソン、指名補習等日頃から丁寧な指導が行われ、その成果が着実にあらわれていると感じた。朝学習、勉強マラソンの拡充をお願いしたい。スケジュール管理の手帳も益々活用願いたい。進路への考え方がより深まる取組にも期待する。主権者教育の拡充も願う。</p> <p>生徒指導をはじめ、教職員が校長先生の示すビジョンに基づき一枚岩となって取り組んでいる様子が伝わってきた。遅刻者の減少については粘り強い対応を願う。相談体制は更に拡充してほしい。運動部を中心として学校生活が盛り上がっていたところに文化部の頑張りも心強い。「さとく、たゆまず、たくましく」という学校の基本方針を生徒にわかりやすく説明し、生徒に誇りをもって学校生活を送ってもらいたい。</p> <p>町民まつり、産業祭、クリーン宮代、地域の防災訓練など地域貢献に意欲的に取り組んでいる。今後も地域に愛される高校になってほしい。「宮高だより」が好評なので、引き続き継続してほしい。HPでの情報発信を、様々な角度から行い学校の良さをPRしてほしい。</p>	